

# SPL工法

「安全」な施工【Safety】「完全」な滑動安定性【Perfection】「施工の省略化」【Labor Saving】

登録番号	
登録番号	認定年月日
B - 2002	2006年8月23日

## 特許

---

特許番号			
取得年	特許番号	取得件数	状況
2004年	第3574351号	2	

## 実用新案

---

登録番号		
取得年	番号	取得状況
1997年	第2533468号	

## NETIS

---

登録番号		
登録名称	登録番号	登録年月日
SPL工法	TH - 010027	2002年4月

## 概要・特徴

### 概要

プレキャスト擁壁の大型化に伴い、在来工法では擁モルタル敷き均し、据え付け等の施工効率が悪化。また、施工に熟練を必要とする等の問題が生じている。SPL工法はこれらの問題点を克服するために開発された工法であり、在来工法に比べ施工性を向上させると同時に、滑動安定性の向上と仕上がりの美しさも兼ね備えている。



### 特徴

- 1.『安全』な施工 [Safety] SPL工法は擁壁をクレーンで吊り上げる作業が在来工法に比べて非常に少ないので、施工時の安全性が向上する。
- 2.『完全』な滑動安定性 [Perfection] 在来工法はモルタル敷き均し厚さの調整により擁壁を据え付けるのが原則ですが、時としてクレーンで擁壁を幾度も吊り上げる手間を省くためにライナープレートやくさび等を使用して高さ調整を行い、底版回りにモルタルを外側から詰めていることがある。これは擁壁底版と基礎コンクリートの間に空隙が生じ、滑動安定性が低下するおそれがある。SPL工法は擁壁底版と基礎コンクリートの間に人為的に空隙をつくり、そこにモルタルミルクを注入充填することにより、擁壁底版と基礎コンクリートの密着性を高める工法。尚、SPL工法は擁壁天端高さおよび壁面勾配を、専用治具のボルトあるいは油圧調整により自在に調節できるため、ミリ単位の正確な据え付けが可能となる。
- 3.『省力化』 [Labor Saving] 在来工法はモルタル敷き均し厚さの調整により、擁壁を据え付けるためにクレーンで幾度も吊り上げる手間が生じますが、SPL工法は専用治具により据え付けるため、その手間が省け作業時間の短縮が可能となります。

## 期待できる効果

効果一覧					
経済性	施工性(省力化)	品質向上	環境	安全性・快適性	バリアフリー等
有	有	無	無	有	無

## 施工実績

施工実績一覧					
施工年	路線・河川名	施工場所	工事名	発注者	施工者
2000年	県道佐野行田線	群馬県館林市	県道佐野行田線	群馬県	原工業(株)
2004年	中村地区集落道	群馬県上野村	中村地区集落道整備工事	上野村	黒沢建設(株)
2006年	粕川林道	群馬県前橋市	粕川林道開設工事	前橋市	(株)拓末建設

## 問い合わせ先1

問い合わせ先1	
会社・団体名	磯貝建材株式会社
住所	〒379-0134 群馬県安中市築瀬620-1
担当部署	
電話	027-385-8832(代表)
ファクス	027-385-4005
メールアドレス	<a href="mailto:isk@cameo.plala.or.jp">isk@cameo.plala.or.jp</a>